

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識 I A		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識 I A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。				
到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定 3級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。				
評価基準	テスト：60% 小テスト：20% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ブライダルコーディネーター技能検定 3級				
関連科目	ブライダル知識 II パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大川 綺萌	実務経験	○		
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8年 (レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	ブライダルコーディネーター技能検定について理解する ブライダルコーディネーターの定義を理解する
2	結婚の定義	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	結婚の定義	結婚に関する言葉とその定義、結婚の類語を知る
4	日本の結婚式 歴史と文化	日本の結婚の歴史について学ぶ
5	日本の結婚式 歴史と文化	日本の結婚の歴史について学ぶ

6	日本の結婚式 歴史と文化	日本の結婚の歴史について学ぶ 宗教と結婚式について知る
7	日本の結婚式 歴史と文化	結婚に関する風習・いわれについて学ぶ
8	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式の歴史について知る
9	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式の歴史について知る
10	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式について知る
11	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式について知る
12	ブライダルビジネス ブライダル市場	ブライダル市場規模、市場規模の推移について把握する
13	ブライダル業種	ブライダル関連業種について理解する
14	テスト	前期内容のテストを実施する
15	総合	テストの振り返りとまとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識 I B		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識 I B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。				
到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定 3級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。				
評価基準	テスト：60% 小テスト：30% 授業態度：10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ブライダルコーディネーター技能検定 3級				
関連科目	ブライダル知識 II パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大川 綺萌	実務経験	○		
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8年 (レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期 I A 振り返り ブライダル関連業種	前期で学んだ I A の内容の振り返り ブライダル関連業種について理解する
2	エリア特性 ブライダル業界の 1年	結婚における地域特有の風習について学ぶ ブライダル業界の 1年の流れと集客システムについて理解する
3	見合いと婚約	見合い、婚約、婚約記念品について学ぶ
4	見合いと婚約	見合い、婚約、婚約記念品について学ぶ
5	結納・婚約式	結納について学ぶ

6	結納・婚約式	結納について学ぶ 婚約式、婚約披露パーティー、両家顔合わせについて学ぶ
7	ブライダル準備 キリスト教式	結婚までのスケジュールを理解する キリスト教式（カトリックとプロテスタント）について学ぶ
8	神前式	神前式の歴史と現状について知る 神前式式次第①
9	神前式	神前式式次第②
10	仏前式 挙式スタイル小テスト	仏前式の歴史と現状、仏前式式次第について知る キリスト教式・神前式・仏前式の挙式スタイルについての小テスト
11	人前式・シビルマリッジ	人前式、シビルマリッジの式次第について学ぶ
12	披露宴	披露宴のスタイル、披露宴の時間帯について学ぶ
13	披露宴の演出プラン	披露宴の進行について理解する
14	後期テスト	後期内容のテスト実施
15	総合授業	テストの振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム A		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラム A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	7つの習慣」テキスト、夢のスケッチブック		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できるようになる 				
評価基準	小テスト／レポート：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	未来デザインプログラム B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	武山 理佳／藤井 麻実	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	未来デザインプログラム授業への価値付けを行い、日誌を書くことの意味や今日から実行できる機会を考える
2	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの概念を知り、自分制限パラダイムを取り払った状態で行動が継続できる様に考える
3	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解すると共に、自分自身への約束を守る大切さを学ぶ
4	刺激と反応	刺激と反応の考え方を理解し、どのような状況でも一時停止ボタンを使い主体的に判断・行動していくことの大切さを考える
5	言霊 ～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
6	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にし、今自分がやるべき事、考えるべき事を優先順位を考えながら整理していく大切さを学ぶ

7	選んだ道と選ばなかった道	自分の選択は自分の気持ち次第であり、自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
8	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
9	人生のビジョン	10年後のなりたい自分を考えることにより、入学時に考えた「卒業時の姿」をより具体的に考える
10	自分の価値観を知る	なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深掘りすることで、将来のなりたい姿を具体的にイメージできるプロセスを学ぶ
11	大切なこととは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」は、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ。自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功の振り返り	主に私的成功の習慣（前期授業内容）の復習（知識確認）
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム B		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラム B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	7つの習慣」テキスト、夢のスケッチブック		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できるようになる 				
評価基準	小テスト／レポート：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	未来デザインプログラム A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	武山 理佳／藤井 麻実	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
2	Win-Win を考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
3	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
4	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、理解してから理解するという考え方があるということを学ぶ
5	相乗効果を発揮する	多様性や人と違いがあることに価値があることを学ぶ
6	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える

7	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続あり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
8	人生ビジョンを見直そう	自らが立てたライフプランを現実的な視点から見つめ、必要な軌道修正を考える
9	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高めていく
10	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
11	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
12	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する
13	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラム授業で学んだことの復習（知識確認）
14	2年生に向けて①	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える
15	2年生に向けて②	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	プライダルビジネスマナー		
必修選択	選択	(学則表記)	プライダルビジネスマナー		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集3級		出版社	早稲田教育出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方やマナーを身につける。				
到達目標	サービス接客検定3級に合格する。 基本的なビジネス文書を作成することができる。				
評価基準	小テスト30%・提出物10%・授業態度20%・検定合格40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	サービス接客検定3級				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	吉江 妙子	実務経験	○		
実務内容	団体及び個人、美容関係者に対するセミナー講師				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナーとは ・敬語① 敬語② 	<ul style="list-style-type: none"> ・接客業におけるビジネスマナーの重要性を知る ・敬語3種類の理解を学び、二重敬語など今後の話し方も考える ・検定対策の為、話す・書くの両方ができるように理解する
2	サービススタッフの資質	サービス業界で求められている敬語、話し方の重要性を学ぶ
3	<ul style="list-style-type: none"> ・専門知識 ・一般知識 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの種類や機能について学ぶ ・一般知識・ことわざ・慣用句・物の数え方など学ぶ
4	人間関係	職場・来客などのコミュニケーションを良くする方法を学ぶ 一般的なマナーの復習とともに、お客様から信頼される態度や言葉遣いを学ぶ

5	<ul style="list-style-type: none"> ・問題処理 ・環境整備・金品管理 ・慶事・弔事のマナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情や問い合わせについての対応方法を学ぶ ・環境整備はお客様の為に大切な事を理解する ・金品管理や金銭授受の言葉と動作、領収書について学ぶ ・祝儀袋の上書き用語・現金の包み方・袱紗などのマナーを学ぶ
6	検定対策①	過去問題より検定対策
7	検定対策②	過去問題より検定対策
8	検定対策③	過去問題より検定対策
9	社交文書①	<ul style="list-style-type: none"> ・縦書き・横書きのレイアウトを学ぶ ・文書の種類、構成や頭後と結語、時候の挨拶などを学ぶ
10	社交文書②	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便の基礎知識を学び、宛名の書き方、返信はがきのマナーを学ぶ ・年賀状の書き方を学ぶ
11	電話対応	電話の掛け方・受け方・伝言メモなどを学び、ロールプレイングを行う
12	名刺交換・お茶出し	名刺の受け渡し方法・お茶の出し方を学び、ロールプレイングを行う
13	現代のマナー	現代に必要なマナーを学ぶ
14	受付～誘導までご案内	受付～誘導までをロールプレイングで実践し学ぶ
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	パーソナルカラー		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルカラー		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	パーソナルカラーコーディネイト検定公式テキスト パーソナルカラーコーディネイト公式ワークブック		出版社	クリエスクール	

科目の基礎情報②

授業のねらい	色に関する知識・法則・技法を理論的かつ実践的に身に付ける				
到達目標	パーソナルカラーコーディネイト検定に合格する 様々なブライダルシーンの実践において色に対する提案力・コーディネイト力を発揮できる人材になる				
評価基準	小テスト40%・提出物30%・授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	パーソナルカラーコーディネイト検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	津田 美砂子	実務経験	○		
実務内容	カラー診断や個人向けのセミナー講師				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	パーソナルカラーについて	パーソナルカラーの重要性を知る
2	色の性質①	<ul style="list-style-type: none"> ・色の持つ性質や特徴を理解する・有彩色と無彩色を理解する ・色の三属性を理解する
3	色のトーン① 色の心理的効果	<ul style="list-style-type: none"> ・トーンごとに持つ色のイメージを学ぶ ・色の心理的効果を理解する
4	配色①	<ul style="list-style-type: none"> ・配色の基礎を学び、配色構成を理解する ・色相環・トーンを理解した上で配色を考える
5	配色②	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージ配色の重要性を理解する ・和装の配色方法を学ぶ

6	光の三要素 眼のしくみ	・色がなぜ見えるのかを学ぶ ・三要素を理解した上で、眼のしくみについて学ぶ
7	対比・補色対比 混色	・対比・補色対比について学ぶ ・加法混色と減法混色を学ぶ
8	色のトーン②	トーンの4つのグループの特徴を理解する
9	色のトーン③	・メイク・ネイルを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ・ヘアカラーを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ・ドレス・ブーケを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする
10	検定対策①	検定対策
11	検定対策②	検定対策
12	検定対策③	検定対策
13	パーソナルカラー判定①	自分がどのグループか判定を行い、似合う色をチェックする
14	Data[2-14-1]	Data[2-14-2]
15	パーソナルカラー判定②	各シーズンの特徴を学びファッションのアドバイスを実践する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザイン I A		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザイン I A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	各校就職ガイドBOOK		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な履歴書の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度 30%・提出物 40%・面接 30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザイン I B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松本 桂/渡辺 実香子/渡村 麻里		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動について	2年間の就職活動の流れを把握する
2	ブライダル業界の仕事について	ブライダル業界の職業・職種について調べ把握する
3	ブライダル関連企業について	ブライダル企業について調べ把握する
4	身だしなみについて①	就職活動における身だしなみを理解する
5	身だしなみについて②	就職活動における身だしなみを理解する

6	自己分析①	自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う
7	自己分析②	自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う
8	自己PR①	自己PRの書き方を学び、作成する
9	自己PR②	自己PRの書き方を学び、作成する
10	履歴書について①	履歴書を作成する
11	履歴書について②	履歴書を作成する
12	面接対策	面接の流れ、面接の種類、ポイントを学ぶ
13	面接練習②	模擬面接を実施する
14	面接練習③	模擬面接を実施する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザイン I B		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザイン I B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	各校就職ガイドBOOK		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な応募書類の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度 30%・提出物 40%・面接 30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザイン I A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松本 桂/渡辺 実香子/渡村 麻里		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動のスケジュール 就職希望調査	・今後の就職活動の流れを把握する ・アンケートの実施
2	就職先について	就職先業種や種類について理解する 就職情報サイトの活用方法を知る
3	就職活動のルールについて	就職活動のルールや各種届、証明書発行について把握する
4	就職活動の履歴書について	就職活動における履歴書について学ぶ
5	志望動機①	志望動機の書き方について学ぶ

6	企業説明会について	企業説明会の申し込み方法・マナーを学ぶ
7	Data[2-7-1]	Data[2-7-2]
8	Data[2-8-1]	Data[2-8-2]
9	エントリーシートの書き方①	自己PR、志望動機をふまえてエントリーシートの記入方法を学ぶ
10	Data[2-10-1]	Data[2-10-2]
11	面接指導①	面接の重要性を把握し、入退室の流れから質問の受け答えまでを学ぶ
12	面接指導②	面接練習
13	S P I ・一般常識対策	S P I ・一般常識の問題を解き、実力をつける
14	Data[2-14-1]	Data[2-14-2]
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	マーケティング		
必修選択	選択	(学則表記)	マーケティング		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ゼクシィ ブライダルコーディネートテキストスタンダード		出版社	リクルート 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	新しい商品を生み出すためにマーケティングの必要性、仕組みを理解する				
到達目標	ターゲットの設定、商品の選定、告知内容を理解し新しい商品を生み出すことができる				
評価基準	プレゼンテーション 50% テスト 40% 授業態度 10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトⅠB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	渡村 麻里	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナー8年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	マーケティングの必要性	マーケティングがなぜ必要なのかを理解する
2	ブライダルビジネスについて	ブライダル市場は具体的にどういった内容を指すのか理解する これまでのブライダル市場の推移について知る
3	ターゲットの選定	コンペティション内容の決定に向けてターゲットを絞る
4	商品の決定	ターゲットに向けて魅力的な商品とは何か考える
5	集客システムについて	ブライダル業界の集客システムはどのようなになっているのかを理解する

6	商品の告知方法	商品の告知方法にはどのようなものがあるのか知る
7	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
8	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
9	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
10	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める。
11	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
12	企業コラボ①	ブライダル企業の方より業界の現状と対策について講話いただく。(オンライン可)
13	企業コラボ②	ブライダル企業の方より業界の現状と対策について講話いただく。(オンライン可)
14	テスト	前期テスト
15	総まとめ	前期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスデザイン A		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスデザイン A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	衣装の知識を学び、検定を取得する				
到達目標	後期に受験する、全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す				
評価基準	テスト70% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定				
関連科目	アテンド実践 A、ドレスデザイン B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	添田 由紀	実務経験	○		
実務内容	ドレスコーディネーター5年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ドレスの構造とデザイン	歴史に見るウェディングドレスの移り変わりを学ぶ
2	ウェディングドレスの構造 ドレスに使用する主な素材	ウェディングドレスの構造、装飾、ドレスに使用する主な素材について学ぶ
3	ドレス各部のデザイン	シルエット別のデザインについて学ぶ ネック別ラインのデザインについて学ぶ
4	ドレス各部のデザイン	ネックライン別・スリーブ別・スカート別・スカートの長さ・カラードレス・二次会用ドレスについて学ぶ

5	ドレスフィッティング実習	前週に学んだ知識を活かしドレスフィッティングを実践する
6	ドレスフィッティング実習	ドレスフィッティングを実践する
7	ウェディングドレスに合わせる小物	ウェディングドレスに合わせる小物について学ぶ ブライダルインナー、ヘッド装飾の種類を学ぶ
8	ウェディングドレスに合わせる小物	アクセサリ、イヤリング、上着、シューズについて学ぶ
9	ドレスのサイズ展開と採寸・補正	日本、欧米のサイズ展開を学ぶ
10	ドレスのサイズ展開と採寸・補正	採寸とドレスのお直し(リフォーム)について学ぶ
11	男性の洋装	男性の洋装について学ぶ
12	男性の洋装	男性洋装小物、男性洋装のサイズ展開と採寸について学ぶ フィッティングも実施する
13	ヘアスタイルによる スタイリング効果 小テスト	ドレスシルエットとヘアスタイルのバランスを学ぶ
14	前期テスト	前期筆記テストを行う
15	総合学習	前期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスデザイン B		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスデザイン B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	衣装の知識を学び、検定を取得する				
到達目標	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す				
評価基準	テスト70% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定				
関連科目	ドレスデザインA、ブライダルプランナー検定I (WP科ハウスウェディングコース)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	添田 由紀	実務経験	○		
実務内容	ドレスコーディネーター5年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	体型によるスタイリング効果	体型別のスタイリング方法を学ぶ
2	体型によるスタイリング効果	体型別のスタイリング方法を学ぶ
3	フィッティング実習	ドレス・タキシードのフィッティングを実践する
4	ブライダルパーティー 衣装店のビジネスと市場	ブライダルパーティーについて知る 衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る
5	和装衣装	新婦和装衣装について学ぶ

6	和装衣装	新婦和装衣装について学ぶ
7	和装衣装 列席者衣裳	新郎和装、列席者の衣装について説明する
8	衣装店のビジネスと市場について	衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る
9	衣装店のビジネスと市場について	衣装店のビジネスと市場・お客様動向、実務内容について知る
10	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
11	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
12	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
13	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
14	後期テスト	後期筆記テストを行う
15	総合学習	後期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	インターンシップ対策		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップ対策		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	インターンシップを行なう上での基礎知識を身に付ける				
到達目標	インターンシップとはどんなものかの理解が深まっている インターンシップを始めるための準備が整っている 現場に出た時に、企業様に迷惑をかけず、自分も困らない基礎スキルが身に付いている				
評価基準	提出物 30%、授業態度 40%、レポート 30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	藤井 麻実/松本 桂	実務経験	○		
実務内容	美容部員/ウェディングプランナー5年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	結婚式の理解を深める	結婚式の仕事内容（特にインターンシップでよくある職種）や種類を知る
2	インターンシップ概要説明①	規定と実施方法（インターンシップ手帳を使った指導）
3	インターンシップ概要説明②	ルール、心構え、身だしなみ（インターンシップ手帳を使った指導）
4	企業リサーチの仕方	ブライダル企業を調べてみる
5	企業説明会動画	企業の説明会動画を見て企業の事を知る

6	先輩動画	インターンシップで頑張っている先輩の動画を見てイメージを膨らませる
7	身だしなみ	髪型やメイク、スーツの着こなしなどの実践
8	履歴書の書き方①	志望動機と自己PRの書き方
9	履歴書の書き方②	履歴書の下書き
10	履歴書の書き方③	履歴書の清書書き
11	電話やメールの仕方	企業様と失礼のないやりとりができるようになる
12	面接練習①	対面面接のポイントを知る
13	面接練習②	オンライン面接のポイントを知る
14	接客対応について	ビジネスマナーや接客についての理解を深める サービスの座学や実践を行なう
15	総合学習	インターンシップに必要な対人力を磨く インターンシップ手帳の書き方や提出方法を理解する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	アテンド実践 A		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践 A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	BIA 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	結婚式当日のアテンダー（介添）の知識、立ち振る舞い、と心得を修得することにより、結婚式当日の挙式の流れも理解する				
到達目標	授業を通して、衣装の取り扱いを理解し、ブライダルプロジェクト時(模擬挙式)に実践する				
評価基準	テスト(小テスト含む) 50% 実技30% 授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	無				
関連科目	ドレスデザインA・ブライダルプロジェクトI A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐久間 一栄	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイク・スタイリスト・アテンド業務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介・導入 結婚式について アテンド（介添）について	結婚式の種類・アテンド（介添）について知る
2	当日のアテンド（介添） 業務について	新郎新婦様来館から挙式披露宴の介添えの動きを学ぶ
3	アテンド（介添）に 求められる要素	アテンド（介添）の位置づけを理解した上で、求められる要素を考える
4	アテンド（介添）について （説明）	挙式の流れ、アテンドの位置確認とアテンドの動き、ベール、ブーケ、手袋の扱い方 新郎新婦の立ち振る舞いについて（立ち方・歩き方・座り方） アテンダーの立ち振る舞いについて（立たせ方・座らせ方・持ち方・誘導の仕方）
5	アテンド（介添）について （説明）	和装のアテンドの仕方、新郎新婦の立ち振る舞いについて学ぶ

6	アテンド（介添）について （実践）	新郎新婦の立ち振る舞いの実践を行う
7	挙式のアテンド① （実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
8	挙式のアテンド② （実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
9	挙式のアテンド③ （実践・小テスト）	挙式アテンドの小テスト
10	挙式のアテンド④ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクト I Aと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
11	挙式のアテンド⑤ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクト I Aと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
12	挙式のアテンド⑥ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクト I Aと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
13	配慮が必要なお客様の対応	配慮が必要なお客様への知識（マタニティ、お子様連れ、足が不自由、高齢のお客様）を学び、対応方法を考える
14	前期試験	ここまで学んできた内容をアウトプットする
15	総合学習	前期の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フラワーアレンジ		
必修選択	選択	(学則表記)	フラワーアレンジ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	45
使用教材	花と遊ぶ・花を学ぶフラワーデザイン入門		出版社	講談社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を習得する				
到達目標	ブライダルフラワーアレンジメント資格を取得する。 ブライダル装花の種類を理解し、様々なスタイルが作成できる。				
評価基準	テスト30%・授業態度30%・検定合格40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルフラワーアレンジメント				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大場 峰子	実務経験	○		
実務内容	ブロックコーポレーション、ブライダル部門にて、ホテル、ハウスウェディングを担当。 株式会社テイクアンドギヴ・ニーズにて、総花担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	・フラワーデザインについて ・リボン作成	・フラワーデザインやウェディングフラワーについて学ぶ ・リボンの作り方を学び、実践する
2	コサージュ・ブートニア	ワイヤリング、テーピング方法を学び、コサージュ作成を行う
3	花束・ラッピング	ラッピングの必要性、保水方法を学び、花束作成を行う
4	ゲストテーブル①（ドーム型）	ゲストテーブルのアレンジメントの種類を学び、ドーム型アレンジメント作成を行う
5	ラウンドブーケ①	ドレスとの相性やトレンドを学び、ラウンドブーケ作成を行う
6	ゲストテーブル②（水平型）	テーブルの形をテーブルアレンジの関係を学び、水平型アレンジメント作成を行う

7	メインテーブル	ホリゾンタル型を生かし、メインテーブル製作をグループで作成する
8	いろいろなアレンジ	ブライダルフラワーのバリエーションを学び、ギフト用バスケットアレンジを作成する
9	カスケードブーケ	ラウンドブーケの作り方を応用し、カスケードブーケを作成する
10	テスト	テスト
11	トライアングュラー	三角形の作り方を学び、トライアングュラー型アレンジを作成する
12	フローラルアクセサリ	ウェディングにおいてのフローラルアクセサリの種類を学び、作成する
13	ラウンドブーケ②	ブーケホルダーを用いたラウンドブーケ作成
14	ブライダル装花	グループでテーマを決め、イメージに合わせたアレンジを作成する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクト I A		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクト I A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日頃の授業のアウトプットとして人前式の企画・施行の全てを行うことができる。				
到達目標	挙式の一連の流れを理解する。 各役割で連携を取り、模擬挙式を作ることが出来る。				
評価基準	授業態度 40%・制作物 40%・振り返り 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	パーティプロデュース				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松本 桂/渡辺 実香子/渡村 麻里	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナー5年/10年/8年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	概要の把握	模擬挙式概要を把握する 当日までのスケジュール、各セッションについて理解する
2	目標・テーマ・各セッション決定	目標立て・模擬挙式のテーマ決め・各セッションメンバーを決める
3	スケジュール・予算立て、デッサンシート作成	チームごとに準備スケジュール立て・チーム費の使い方説明・予算立てを行う
4	各セッション制作①	各セッションごとに準備を進める
5	各セッション制作②	同上
6	各セッション制作③	同上

7	各セッション制作④	同上
8	紙上リハーサル	完成した進行表をもとに紙上リハーサルを行う
9	挙式リハーサル①	挙式リハーサル①を行う（各セッション、動きの確認）
10	挙式リハーサル②	挙式リハーサル②を行う（各セッション、動きの確認）
11	挙式リハーサル③	挙式リハーサル③を行う（各セッション、動きの確認）
12	全体リハーサル①	全体リハーサル①を行う（受付～誘導～挙式～お見送り）
13	全体リハーサル②	全体リハーサル②を行う（受付～誘導～挙式～お見送り・タイム取り）
14	振り返り	模擬挙式の振り返りを記入
15	総まとめ	振り返りの返却・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクト I B		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクト I B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を身につける ・業界で求められるニーズを把握し、再現するためのコーディネート力を習得する 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダル業界の課題に対する改善策を考え、プレゼンテーション出来る ・これまで学んだ技術を生かし、花嫁の全身コーディネートを創りあげる 				
評価基準	校内選考企業評価 50%・グループレポート 30%・授業態度 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	マーケティング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松本 桂/渡辺 実香子/渡村 麻里	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナー5年/10年/8年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	後期行事について	ブライダルコンペティションについて概要を把握する 企業様によるブライダル業界についての講話を聞く
2	成績評価について	成績評価に加わるレポートについて把握する 全国コンペティションの映像を鑑賞する
3	チーム分け	チーム分けの発表 チームごとに内容を検討する
4	内容検討	チームごとに内容を検討する グループレポートを記入する
5	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
6	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める

7	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
8	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
9	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
10	リハーサル	リハーサルを行う
11	リハーサル	リハーサルを行う
12	リハーサル	リハーサルを行う
13	本番	コンペティション本番 (授業外での開催の可能性もあり)
14	振り返り	コンペティション振り返りを実施する
15	総まとめ	後期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルセールス A		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルセールス A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	社団法人日本ブライダル事業振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	新規接客や打合せにおいての立ち振る舞いやカウンセリング方法、トークスキル等を理解・習得し、円滑なコミュニケーションでセールスできるようになる。				
到達目標	新規接客及び顧客に向けた営業（付帯セールス）において、お客様の満足度を得られる接客スキルを身につける。 第一印象が重要な業界を目指すための立ち居振る舞い・姿勢・表情を意識する意味・身だしなみを整える 大切さを理解し、インターンシップや日頃の学校生活で実践させる。 就職活動等、今後のブライダルプロジェクトに活かせる、話し方、聴き方、カウンセリングで効果的な質問、受け答えが出来るようにする。				
評価基準	テスト：50% ロールプレイング：40% 授業態度：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダルセールス B・ハウスセールス・ホテルセールス ブライダルプロジェクト II（ウェディングプロデュース）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	ベナルーシュ 亜紀子／松尾 智世子	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナー10年、教会アテンダー2年／ウェディングプランナー				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	・教員自己紹介・授業ルールについて ・皆が考えるセールスのゴールを考え様々な意見を吸収する
2	ウェディングビジネス マインド	結婚式を創る仕事をするプランナーの心構えについて 人が喜ぶ究極のおもてなしとは？
3	身だしなみ	・自己表現（オシャレ）と自己演出（身だしなみ）の違い ・プランナーとして、スタッフとして、どう見られているのかという意識を持ち自己演出を考える

4	笑顔	笑顔と見られるポイントと使い分けを身につける
5	立ち居振る舞い	①立ち方 ②歩き方 ③手の組み方 ④座り方 ⑤物の渡し方 ⑥物の指し方 高額商品を売る側として、美しい立ち居振る舞いを身につける
6	求められる5つの基本能力 アイスブレイクについて①	・プレゼンテーション力とは・ヒアリング力、コーディネート力、営業力、問題解決力とは 自分自身に足りない力を見つけ、伸ばすためにはどうしたらよいかを知る。 ・アイスブレイクとは
7	新規接客のご挨拶 アイスブレイク②ロールプレイング①	名刺交換の知識を伝え、これまで学んだ、身だしなみ、立ち居振る舞い、笑顔を意識し、新規接客のご挨拶のロールプレイング。
8	新規接客のご挨拶 アイスブレイク③ロールプレイング②	同上
9	タイプ別の対応を理解する 発想の転換	お客様には心地よいと思う話し方がそれぞれ異なり、相手（お客様）が自分に合っていないではなく、自分が相手に合わせて接客することが大切だと学ぶ。発想の転換でポジティブに変換する。
10	お客様の印象が変わる話し方	①話すスピード ②声の大きさ ③話すクセ ④視線 ⑤身振り・手振り ⑥表情 お客様が心地よいと感じる話し方を身に付ける。
11	お客様の印象が変わる 聴き方	①二人（新郎新婦）の対応 ②あいづち ③繰り返し ④間の取り方 お客様は話しやすいと感じる聴き方を身につける。（ペアワーク実施）
12	お客様の印象が変わる 話し方・聴き方を 身につける為のロールプレイング	お客様の印象が変わる話し方、聴き方を実践する。
13	同上	同上
14	半期のまとめ	半期のまとめを行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルセールス B		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルセールス B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	社団法人日本ブライダル事業振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	新規接客や打合せにおいての立ち振る舞いやカウンセリング方法、トークスキル等を理解・習得し、円滑なコミュニケーションでセールスできるようになる				
到達目標	お客様の満足度を得られる接客スキル、基礎基本を身につける。 新規接客前の集客の仕組み、ブライダルフェアでの予約の電話対応、お問い合わせに対する応対ができるようになる。 新規接客の基本的な流れを理解する。(本格的な資料の使い方や手法を取り入れた授業は2年次)				
評価基準	テスト：50% ロールプレイング：40% 授業態度：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダルセールス A・ハウスセールス・ホテルセールス ブライダルプロジェクト II (ウェディングプロデュース)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	ベナルーシュ 亜紀子/松尾 智世子	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナー10年、教会アテンダー2年/ウェディングプランナー				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新規接客来館までの流れ	実際に自分がお客様の立場になった時にどのような対応をされると良いか考えることで、来館前の対応がいかに重要かを知る
2	ブライダルフェア・相談会について	企業のHP、ゼクシィ等を使い、ブライダルフェアの目的、内容について
3	資料請求・HP・WEB・SNS・問い合わせ	集客方法とそれぞれの手法の対応方法について 問合せに対する返信文やSNSの発信について等、お客様視点で考える力を身につける
4	電話対応 (知識+実践) ■電話対応の基本 ■ブライダルフェアの予約	電話の受け方、取次ぎ、電話をかける、表情、準備物等を学ぶ 電話でブライダルフェアの予約を受ける際の注意点を学ぶ

5	電話対応（知識+実践） ■電話対応の基本 ■ブライダルフェアの予約	同上
6	メモの取り方	簡潔に分かりやすく伝える知識を身につける 電話をしながら、メモをとる実践
7	新規接客の目的・ゴール	ブライダルフェアや相談会でプランナーが行う新規接客のゴールを理解する
8	クロージング	クロージングの目的、ゴールについて
9	新規接客の流れと資料	お出迎え～クロージングまでの順番、時間配分・目的・ポイント を理解する
10	新規接客の流れと資料	同上
11	来館アンケートについて	来館アンケートを元にお客様の要望を把握する
12	チャペルの新規トークについて	チャペルの新規トークについて理解する
13	半期のまとめ①	半期のまとめを行う
14	半期のまとめ②	同上
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	コーディネート A		
必修選択	選択	(学則表記)	コーディネート A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	WEDDING SPACE		出版社	一般社団法人日本ウェディング スタイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	会場・テーブルコーディネート・イメージ分類などブライダルデザインに繋がる知識や技術を学ぶ				
到達目標	テーブルコーディネートの必要性を理解し、 イメージ分類を理解した上でお客様のイメージする空間を形にできる。				
評価基準	テスト40%・授業態度30%・提出物30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	遠藤 智緒里/金子 由美	実務経験	○		
実務内容	ウェディングコーディネーター/空間コーディネーター、フードコーディネーター				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	空間演出	結婚式における空間演出の重要性を学ぶ
2	空間演出の役割	照明・テーブル・椅子・装飾などの演出におけるイメージの違いを学ぶ
3	テーブルプラン	テーブルの様々な種類のイメージを学び、テーブルプランを考える
4	機材	空間演出において機材の必要性と種類を学ぶ
5	テーブルクロス	テーブルクロスの効果を学ぶとともに、たたみ方・裏表・山谷について学ぶ

6	センターピース	センターピースの役割を学び、色のもつイメージを学ぶ
7	色のトーン	同じ色でもトーンが違うことでイメージや相性のいい色がある事を学ぶ
8	小テスト 感性分類	感性分類という色のすみ分けについて学ぶ
9	感性分類	感性分類マップ別によって感じる印象の違い、イメージを学ぶ
10	イメージ別コーディネート①	エレガントに分類されるコーディネートを学ぶ
11	コラージュ①	エレガントに分類されるコーディネートのコラージュを作成する
12	イメージ別コーディネート②	ロマンティックに分類されるコーディネートを学ぶ
13	コラージュ②	ロマンティックに分類されるコーディネートのコラージュを作成する
14	テスト	前期末テスト
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アテンド実践 B		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践 B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	結婚式当日のアテンド業務・宴会キャプテン業務を理解する				
到達目標	結婚式当日のアテンド業務・宴会キャプテン業務を理解し、実際に言動でも出来るようになっている。				
評価基準	テスト（筆記/実技）：50% ロール・プレイング、シミュレーション：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	アテンド実践 A・ブライダルプロジェクトⅠ（模擬披露宴） ブライダルプロジェクトⅡ（ウェディングプロデュース）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大川 綺萌	実務経験	○		
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8年 (レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介 前期振り返りを実施	挙式アテンドの振り返りと復習
2	コンシェルジュのアテンド クロークスタッフのアテンド	コンシェルジュ（クローク）の業務内容を理解する
3	キャプテン 結婚式当日の動きを学ぶ①	会場責任者の重要性、業務内容を理解する
4	キャプテン 結婚式当日の動きを学ぶ②	会場入り～披露宴おひらきまでの動きについて理解する
5	受付の説明 親族紹介の進め方を学ぶ	受付の説明、親族紹介について理解する

6	披露宴入場説明お色直し入場説明 先導について	それぞれの入場説明が出来るようになり、新郎新婦を先導し高砂席へアテンドすることが出来る。 (控室から会場に案内する際の口上も学ぶ)
7	披露宴入場説明お色直し入場説明 先導について	同上
8	ケーキ入刀、手紙・花束贈呈(演出) アテンドについて	結婚式の演出に合わせての口上を学ぶ
9	ケーキ入刀、手紙・花束贈呈(演出) アテンドについて	同上
10	退場～おひらき アテンドについて	新郎新婦退場～おひらきまでの一連の流れを知る
11	筆記テスト	筆記テストを行う
12	実技テスト	実技テストを行う
13	アテンド実践①	ウェディングプロデュースに向けて、グループに分かれアテンド練習
14	アテンド実践②	同上
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サービス実践 A		
必修選択	選択	(学則表記)	サービス実践 A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル		出版社	日本ホテル・レストランサービス技能協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	婚礼やレストランにおけるサービスの知識と技術を学び、お客様に合わせたサービスができるようになる。 また、テーブルマナーや飲食に関する知識を学び知見を広げる。				
到達目標	基礎的な料飲サービスができるようになる。 正しい接客用語やテーブルマナーを理解し実践できるようになる。				
評価基準	テスト(実技・筆記): 50% ロール・プレイング、シミュレーション: 30% 授業態度: 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	プライダルプロジェクトⅠ(模擬披露宴) プライダルプロジェクトⅡ(ウェディングプロデュース)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大川 綺萌	実務経験	○		
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8年 (レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・授業の目的、使用教科書、成績評価、授業のルール ・サービスについて考える
2	接客の基本 接客における好ましい表現	サービスの姿勢、笑顔、接客用語、身だしなみ
3	什器備品の知識 テーブルクロスへのセッティング	それぞれの特徴や用途・取扱い方法を知る クロスのかけ方、ナフキン折りについて理解する
4	テーブルマナー メニュー表の読み方を知る	テーブルマナーを学ぶ

5	お出迎え～提供サービス① 実技（練習）	トレイの持ち方・2枚、3枚、4枚持ち・ドリンクサービス（ワイン・水） お出迎え、チェアサービス、卓挨拶、メニュー提示、オーダーテイクを学ぶ
6	お出迎え～提供サービス② 実技（練習）	同上
7	お出迎え～提供サービス③ 実技（練習）	同上
8	お出迎え～提供サービス④ 実技（練習）	同上
9	お出迎え～提供サービス⑤ 実技（練習）	同上
10	お出迎え～提供サービス⑥ 実技（半期まとめ）	半期のまとめを行う
11	お出迎え～提供サービス⑦ 実技（半期まとめ）	半期のまとめを行う
12	レストランの管理業務組織を知る	レストランの管理業務・組織を知る
13	レストラン等の電話対応 アレルギーについて	レストランのレセプションの電話対応・正しい接客用語を学ぶ
14	半期の総まとめ	半期の総まとめを行う
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーティプロデュース		
必修選択	選択	(学則表記)	パーティプロデュース		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ゼクシィ ブライダルコーディネートテキストスタンダード		出版社	リクルート 社団法人日本ブライダル事業振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	テーマに合わせた挙式、披露宴のプランニングが出来るように基礎的な結婚式の流れや用語を身につける				
到達目標	新郎新婦の要望に基づいたテーマプランニングが出来るようになる。				
評価基準	テスト 50% プレゼンテーション 40% 授業態度 10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	オリジナルプランニング・ホテルプランニング・ブライダル知識Ⅰ、Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	橋本 淳子	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 挙式スタイルの基礎知識	授業の目的・授業のルールの確認 挙式の種類と特徴について知る
2	挙式の流れと演出②	キリスト教式、神前式、仏前式について知る
3	挙式の流れと演出①	人前式について 人前式の演出についてについて学ぶ
4	テーマウェディングとは	テーマウェディングについて学ぶ
5	挙式プロデュース①	テーマウェディングの挙式をプロデュースする

6	挙式プロデュース②	テーマウェディングの挙式をプロデュースする
7	挙式プロデュース③	テーマウェディングの挙式プロデュースの発表をする
8	披露宴の基礎知識	披露宴について知る
9	披露宴の流れと演出①	披露宴の進行について学ぶ
10	披露宴の流れと演出②	披露宴の演出、当日のスケジュールについて知る
11	披露宴プロデュース①	テーマウェディングの披露宴をプロデュースする
12	披露宴プロデュース②	テーマウェディングの披露宴をプロデュースする
13	披露宴プロデュース③	テーマウェディングの披露宴プロデュースの発表をする
14	テスト	テスト
15	総まとめ	テストの振り返りと前期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコン演習 A		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習 A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集 3 級・模擬問題集 3 級 30 時間でマスター Word & Excel 2019		出版社	株式会社ユアサポート 実教出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得				
到達目標	社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる				
評価基準	検定・テスト 60%、課題提出 40%				
認定条件	出席が総時間数の 3分の2 以上ある者、成績評価が 2 以上の者				
関連資格	パソコン技能検定 3 級 (後期パソコン演習 B にて実施)				
関連科目	パソコン演習 B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高橋 めぐみ	実務経験	○		
実務内容	システムエンジニア 7 年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・PC 基礎知識	授業の流れ、検定と到達目標について PC 基礎知識、タッチタイピング、ソフト、OC の使用方法、リテラシーについての理解
2	Word 入門①	Word の基礎知識について・文字入力方法を理解する
3	Word 入門②	文章入力、入力の訂正、特殊な入力方法について
4	Word 入門③	文の入力、文書の保存と読み込み、印刷、複写・削除・移動について
5	Word 活用	文字揃え、文字装飾、均等割り付け、フォントの変更、サイズの変更、下線・太字・斜体についてについて
6	Word 応用①	表の作成・編集について

7	Word 応用②	表の作成・編集について練習
8	文書作成	表入りビジネス文書作成練習
9	Excel 入門	データ入力の手順、基本的なワークシートの編集、Excel 書式設定について
10	Excel 応用①	オート SUM、関数、四則演算について
11	Excel 応用②	グラフの作成、グラフの設定変更について
12	検定対策①	表入りビジネス文書作成練習、学科問題
13	検定対策②	表入りビジネス文書作成練習、学科問題
14	前期まとめ	確認テスト(学科、タイピング、Word 文書作成)
15	PowerPoint 入門	テキストボックス、図形、画像の挿入等、今まで学んだ Word,Excel を踏まえ PowerPoint の動作を学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコン演習 B		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習 B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集 3 級・模擬問題集 3 級 30 時間でマスター Word & Excel 2019 はじめての PowerPoint 2019		出版社	株式会社ユアサポート 実教出版 秀和システム	

科目の基礎情報②

授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得				
到達目標	検定合格をすることで、社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる				
評価基準	検定・テスト 60%、課題提出 40%				
認定条件	出席が総時間数の 3分の2 以上ある者、成績評価が 2 以上の者				
関連資格	パソコン技能検定 3 級				
関連科目	パソコン演習 A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高橋 めぐみ	実務経験	○		
実務内容	システムエンジニア 7 年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期パソコン演習 A 復習	前期パソコン演習 A の総まとめ 確認テスト問題解説
2	パワーポイント基礎①	プレゼンテーションとは、PPT の基本操作
3	パワーポイント基礎②	パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料の作成①
4	パワーポイント基礎③	パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料の作成②
5	Word 復習	表入りビジネス文書作成と解説

6	Excel 復習①	表計算問題実施と解説
7	Excel 復習②	表計算問題実施と解説
8	Word・Excel 復習	表入りビジネス文書、表計算問題を実施 解説
9	後期まとめ	確認テスト(学科、タイピング、Word 文書作成、表計算問題)
10	問題解説	確認テスト問題解説
11	検定対策①	模擬問題実施(学科、タイピング、Word 文書作成、表計算問題)
12	検定対策②	模擬問題実施(学科、タイピング、Word 文書作成、表計算問題)
13	パワーポイントプレゼン制作	オリジナルプレゼンテーションの作成
14	パワーポイントプレゼン応用	オリジナルプレゼンテーションにアニメーション、音楽の挿入
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス				
科目の基礎情報①				
授業形態	演習	科目名	ベーシックメイク A	
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイク A	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2 45
使用教材	ベーシックメイクアップテキスト ポイントメイクアップリムーバー・クレンジング・ ローションⅠ・ローションⅡ・エマルジョン・エッセンス・下地・コ ントロールカラー		出版社	三幸学園
科目の基礎情報②				
授業のねらい	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける			
到達目標	メイク道具や化粧品についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる 基本的なメイクを時間内に仕上げることができる			
評価基準	筆記テスト 30%、実技テスト 30%、小テスト（実技・筆記・課題提出含む）20%、授業態度 20%			
認定条件	出席が総時間数の 3分の2 以上あるもの成績評価が 2 以上のもの			
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ベーシックメイク検定			
関連科目	無			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	山下 智子/伊藤 亜美	実務経験	○	
実務内容	メイク教室、文化教室、企業メイクレッスン、舞台・イベントヘアメイク/ ビューティーカウンセラー（資生堂）			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 今後学ぶ内容について 教材のチェック	オリエンテーション教材のチェック 基本セッティング&実践について学ぶ
2	『骨格と表情筋』 クレンジングについて学ぶ	『骨格と表情筋』・・・顔の名称を覚える 手指消毒～リクレンジングまでの理論と方法を学ぶ
3	スキンケアについて学ぶ	前回の復習 スキンケアの種類、方法などを学ぶ実際に相モデルで行う
4	クレンジング 実技テスト筆記小テスト① ファンデーション導入	クレンジング基礎知識とともにこれまでの復習を兼ねた小テストの実施 ファンデーションについて説明、デモンストレーション、実践

5	アイメイクについて学ぶ①	今まで学んだ箇の復習 ファンデーションについて復習 アイメイクについて学ぶ (アイシャドウ、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック) アイシャドウ (縦グラデーションについて学ぶ&実践)
6	アイメイクについて学ぶ②	前回の復習 アイメイクについて学ぶ (アイシャドウ、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック) アイシャドウ (横グラデーションについて学ぶ&実践)
7	アイブローについて学ぶ①	前回の復習 基本の眉のプロポーションについて学ぶ&セルフ実技実践使用道具など
8	アイブローについて学ぶ②	前回の復習 アイブロー相モデルで実践。左右対称に行い。形の違いを理解する
9	チーク・リップ ハイ&ローライトについて学ぶ	前回の復習 骨格を意識したメイクを学ぶ (3パターン行う)
10	フルメイクの練習①	【テストに向けて】 タイムトライアル (45分) ・時間内にメイクができるようになる。 ・技術を向上させる (左右対称、自然な仕上がりになど) 反復練習を行い技術力を上げる
11	フルメイクの練習②	同上
12	フルメイクの練習③ 筆記小テスト②	同上
13	フルメイクの練習④	同上
14	実技テスト・筆記テスト メイク検定ベーシックについて	タイムトライアルでフルメイクの実技テスト 前期に学んだ範囲すべての筆記テスト メイク検定の説明
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス				
科目の基礎情報①				
授業形態	演習	科目名	ベーシックメイク B	
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイク B	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2 45
使用教材	ベーシックメイクアップテキスト ポイントメイクアップリムーバー・クレンジング・ ローションⅠ・ローションⅡ・エマルジョン・エッセンス・下地・コ ントロールカ		出版社	三幸学園
科目の基礎情報②				
授業のねらい	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける			
到達目標	メイク道具や化粧品についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる 基本的なメイクを時間内に仕上げることができる			
評価基準	筆記テスト 30%、実技テスト 30%、小テスト（実技・筆記・課題提出含む）20%、授業態度 20%			
認定条件	出席が総時間数の 3分の2 以上あるもの成績評価が 2 以上のもの			
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ベーシックメイク検定			
関連科目	無			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	山下 智子/伊藤 亜美	実務経験	○	
実務内容	メイク教室、文化教室、企業メイクレッスン、舞台・イベントヘアメイク/ ビューティーカウンセラー（資生堂）			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	メイク検定ベーシックについて ソフト理論を学ぶ	オリエンテーション 検定について、プロポーションについてレクチャー・相モデルでポイントメイク
2	ソフトの練習	相モデルでフルメイク練習（タイムトライアル制限時間内にメイクをする）
3	シャープ理論を学ぶ・小テスト	レクチャー・相モデルでポイントメイク筆記に向けて小テスト
4	シャープの練習	相モデルでフルメイク練習（タイムトライアル制限時間内にメイクをする）

5	ソフト OR シャープの練習①	検定に向けて実践練習 タイムトライアル制限時間内にメイクをする
6	ソフト OR シャープの練習②	同上
7	実技・テスト(実技筆記対策)	検定と同様に実技テスト (スキンケア～フルメイク、筆記試験) 苦手克服 (苦手な部分を集中して練習)
8	メイクの種類を学ぶ① カラーボリュームについて	プロポーション、パーツと印象の関係、プロポーションパーツ
9	メイクの種類を学ぶ② カラーボリュームについて	色とトーン、質感、カラーボリュームバランスイメージを理解する (SWEET/ROMANTIC)
10	メイクの種類を学ぶ③シーン別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (FEMININE/LUXURY) シーンに合わせたメイク…和装などにあうメイク
11	メイクの種類を学ぶ④シーン別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (POP/NATURAL) シーンに合わせたメイク…美しいベースメイク
12	メイクの種類を学ぶ⑤ケース別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (COOL/CRASICAL) シーンに合わせたメイク…カラードレスに合わせるメイク
13	メイクの種類を学ぶ⑥ケース別メイク	メイクパターンをデッサン画にする イメージがわかるコラージュのやり方ブライダルシーンに合わせたメイク
14	モデルの顔分析似合わせ	モデルの顔分析から、相モデルにてテーマに合わせて施術
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネススキル A		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネススキル A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ビジネス用語図鑑		出版社	WAVE 出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界だけではなく「ビジネスマン」としてのスキル・知識を身に付けることで就職活動の際に、大学生に求められるような幹部候補生として活躍できる人材を目指す				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・営業系を中心に、人事総務・経営・IT&AI・製造・コンサルなどの「ビジネス用語」を学ぶことを通して企業の中での様々な部門の視点を身に付ける ・ビジネス用語をきっかけとして、ビジネスの面白さを知る ・時事ニュースを通じて世の中の動きを理解する 				
評価基準	テスト、課題提出（発表内容）60%、授業態度・参加の積極性 40%				
認定条件	出席が総時間の3分の2以上ある者、成績評価が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	三田地 円	実務経験	○		
実務内容	参議院議員秘書				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・導入	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の自己紹介、授業のルール、成績の付け方 ・ビジネスとは何か（ビジネス用語を学ぶ意味） ・各回で取り上げる時事ニュースの発表方法について
2	ビジネス用語を学ぶ意味	<ul style="list-style-type: none"> ・時事ニュース ・会社の中の部署と役割について ・ビジネス用語を学ぶ意味
3	人事総務について① ～働き方改革～	<ul style="list-style-type: none"> ～働き方改革～ ・教科書 P12【働き方改革】 P16【スーパーフレックス】 P21【ワークライフバランス】 ・時事ニュース

4	人事総務について② ～多様な働き方～	～多様な働き方～ ・教科書 P20【ダイバーシティ】 P38【副業・兼業】 P17【非正規社員】 P14【同一労働同一賃金】 ・時事ニュース
5	人事総務について③ ～企業と社員の関係～	～企業と社員の関係～ ・教科書 P23【従業員体験】 P24【ES 調査】 P25【健康経営】 P40【カフェテリアプラン】 ・時事ニュース
6	人事総務について④ ～場所や時間にとらわれない働き方～	～場所や時間にとらわれない働き方～ ・教科書 P31【テレワーク】 P32【サテライトオフィス】 P34【グループウェア】 P36【コワーキングスペース】 P37【フリーアドレス】・時事ニュース
7	人事総務について⑤ ～人材育成～	～人材育成～ ・教科書 P39【エルダー制度】 P41【インターンシップ】 P44【ロールモデル】 P45【PDS サイクル】 ・時事ニュース
8	小テスト	・人事総務系ビジネス用語の確認小テスト ・小テスト振り返り
9	営業について① ～営業活動とは ・消費行動のメカニズム～	～営業活動とは～・教科書 P132【ブランディング】 P133【プロモーション】 ～消費行動のメカニズム～・教科書 P135【AISAS】 P136【AMTUL】・時事ニュース
10	営業について② ～様々な営業のかたち～	～様々な営業のかたち～ ・教科書 P137【BtoB・BtoC】 P138【フラッグシップ】 P139【コンセプトショップ】 P140【インバウンド】 ・時事ニュース
11	営業について③ ～営業トークスキル～	～営業トークスキル～ ・教科書 P143【アイスブレイク】 P144【ラポール】 P145【ハンガートーク】 P148【クローズドクエスション】 P156【アクティブリスニング】・時事ニュース
12	営業について④ ～営業スタッフとしての姿勢・手法～	～営業スタッフとしての姿勢・手法～ ・教科書 P141【ホスピタリティ】 P149【インセンティブ】 P150【コミッション】 P152【フットインザドア】・時事ニュース
13	営業について⑤ ～その他営業で使われる用語～	～その他営業で使われる用語～ ・教科書 P154【コスパ】 P155【CS】 P158【チャンネル】 ・時事ニュース
14	営業について⑥ ～その他営業で使われる用語～	～その他営業で使われる用語～ ・教科書 P160【ワンストップサービス】 P161【E コマース】 P162【ロングテール】 P164～165【おじさん世代のビジネス用語】・時事ニュース
15	前期テスト	・前期テスト ・振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネススキル B		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネススキル B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ビジネス用語図鑑		出版社	WAVE 出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界だけではなく「ビジネスマン」としてのスキル・知識を身に付けることで就職活動の際に、大学生に求められるような幹部候補生として活躍できる人材を目指す				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・営業系を中心に、人事総務・経営・IT&AI・製造・コンサルなどの「ビジネス用語」を学ぶことを通して企業の中での様々な部門の視点を身に付ける ・ビジネス用語をきっかけとして、ビジネスの面白さを知る ・時事ニュースを通じて世の中の動きを理解する 				
評価基準	テスト、課題提出（発表内容）60%、授業態度・参加の積極性 40%				
認定条件	出席が総時間の3分の2以上ある者、成績評価が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	三田地 円	実務経験	○		
実務内容	参議院議員秘書として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	IT&AI について① ～AI の技術～	～AI の技術～ ・教科書 P95 【AI】 P96 【AGI】 P97 【シンギュラリティ】 P98 【ディープラーニング】 ・時事ニュース
2	IT&AI について② ～現代の IT 活用方法～	～現代の IT 活用方法～ ・教科書 P94 【クラウド】 P99 【ビッグデータ】 P100 【データマイニング】 ・時事ニュース
3	IT&AI について③ ～IT・WEB を活用したビジネス～	～IT・WEB を活用したビジネス～ ・教科書 P103 【インフルエンサー】 P105 【ブロガー】 P106 【ユーチューバー】 P107 【アフィリエイト】 P111 【バズマーケティング】・時事ニュース

4	IT & AI について④ ～新たな IT 技術～	～新たな IT 技術～ ・教科書 P108 【VR】 P112 【5G】 P113 【仮想通過】 P117 【デジタルトランスフォーメーション】 ・時事ニュース
5	IT & AI について⑤ ～その他 IT 関連で使われる用語～	～その他 IT 関連で使われる用語～ ・教科書 P101 【セキュリティ】 P116 【インプレッション】 P126 【コンバージョン】 ・時事ニュース
6	小テスト	・IT 系ビジネス用語の確認小テスト ・小テスト振り返り
7	経営について① ～企業が果たすべき責任～	～企業が果たすべき責任～ ・教科書 P50 【コーポレートガバナンス】 P51 【コンプライアンス】 P52 【メディアリテラシー】 P59 【サステナビリティ】・時事ニュース
8	経営について② ～経営活動～	～経営活動～ ・教科書 P54 【アジェンダ】 P56 【ブレイクスルー】 P86 【クレド】 P87 【SWOT 分析】 ・時事ニュース
9	経営について③ ～企業と利害関係がある人・団体～	～企業との利害関係がある人・団体～ ・教科書 P65 【ステークホルダー】 P67 【コンペティター】 P70 【イノベーター】 P71 【アーリーアダプター】 P72 【ラガード】・時事ニュース
10	コンサルティングについて① ～分析のための情報と手法～	～分析のための情報と手法～ ・教科書 P200 【エビデンス】 P201 【クリティカル】 P202 【アジャイル】 ・時事ニュース
11	コンサルティングについて② ～時代のニーズにあわせた思想の変化・ニーズの引き出し～	～時代のニーズにあわせた思想の変化・ニーズの引き出し～ ・教科書 P208 【パラダイムシフト】 P209 【コンテンポラリー】 P213 【エンパワーメント】 P214 【インサイト】 ・時事ニュース
12	コンサルティングについて③ ～問題分析とその考え方～	～問題分析とその考え方～ ・教科書 P216 【ソリューション】 P218 【ファシリテーター】 P221 【インスパイア】 P228 【ロジックツリー】 ・時事ニュース
13	後期テスト（総まとめ）	・後期（総まとめ）テストを行う
14	テスト・振り返り	・テストの振り返りと、必要な部分の補足学習を行う
15	総合授業	・総合学習を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	リーダーシップ論 A		
必修選択	選択	(学則表記)	リーダーシップ論 A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	図解 面白いほど役に立つ 人を動かすリーダー力		出版社	日本文芸社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	チームで成果を出すための理論・人をまとめる力・人を活かす方法論				
到達目標	様々なタイプの人を動かす力を学び自分にあった自己のモチベーション・リーダーとしてメンバーのモチベーションを上げるスキルを身につける				
評価基準	テスト・課題提出・プレゼンテーション 60%、授業態度・参加の積極性 40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	工藤 慎也	実務経験	○		
実務内容	マーケティング会社 CEO				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介・オリエンテーション	自己紹介・授業の概要・評価方法・リーダーシップとは
2	「偉人伝シリーズ ①あきらめないために」 グループディスカッション	・偉人のリーダーシップについて学ぶ。(カーネル・カーネルサンダース) ・グループディスカッション
3	「偉人伝シリーズ ②あきらめないために」 グループディスカッション	・偉人のリーダーシップについて学ぶ。(松下 幸之助) ・グループディスカッション
4	目指すリーダー力	リーダーになるために必要な5つのポイント
5	リーダーには何が必要か	リーダーシップを発揮するために必要な5つの条件

6	自己紹介作成	リーダーは自分を知ってこそ活かすことができる。自分を知るための自己紹介を作成
7	理想のリーダー像	有名な人・偉人でリーダーシップのイメージが強い人を調べる(個人ワーク) 個人ワークしたものをグループで発表後、グループワーク
8	リーダーとしての共通点	調べて、ディスカッションした内容から色々なリーダーがいることを理解する 人をまとめる力についての種類を理解する
9	理想のリーダー像①	前回、前々回の振り返りから、自分が真似したい、学びたい偉人を個人ワークで探し特徴を学ぶ
10	理想のリーダー像②	前回の続き、プレゼン作成
11	理想のリーダー像③	プレゼンテーションを行う。自分がどういう風を目指していくか
12	理想のリーダー像④	前回の続き。プレゼンテーションを行う。自分がどういう風を目指していくか
13	メンバーのやる気の引き出し方	人に協力してほしいとき、周りの人間に対して日常的にどのように接することが大事か あなたにとってのメンターを考えよう
14	コミュニケーション力向上には	人を育てる・巻き込むには5つのポイントがある 行事や、人間関係の構築にはコミュニケーションの向上が必須
15	総合授業	前期の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	リーダーシップ論 B		
必修選択	選択	(学則表記)	リーダーシップ論 B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	図解 面白いほど役に立つ 人を動かすリーダー力		出版社	日本文芸社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	チームで成果を出すための理論・人をまとめる力・人を活かす方法論				
到達目標	様々なタイプの人を動かす力を学び自分にあった自己のモチベーション・リーダーとしてメンバーのモチベーションを上げるスキルを身につける				
評価基準	テスト・課題提出・プレゼンテーション 60%、授業態度・参加の積極性 40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	工藤 慎也	実務経験	○		
実務内容	マーケティング会社 CEO				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	後輩・部下と上手くコミュニケーションをとろう	8 聞き 2 喋りで聞き役に回ろう 信頼関係を築くには「ラポール」が大事
2	評価・叱り方	公平な評価をすることが大事「ファクト評価」をすることが大事 チームメンバーを叱るときは、「ヒト」として叱らない
3	褒める技術	自分の日常の行動や他社の行動を思い返し、褒める技術・習慣化させる
4	授業の実践	リーダーシップを生かすために、ディベートを行う
5	授業の実践	リーダーシップを生かすために、ディベートを行う
6	授業の実践	リーダーシップを生かすために、ディベートを行う

7	授業の実践	リーダーシップを生かすために、グループディスカッションを行う
8	プレゼン力をつけるためには	口達者である必要はない。 4つのルールを使って表現力を高めよう
9	プレゼン力実践	一つの商品をプレゼンしてみる
10	MYリーダーシップ論の作成	今まで学んで来た内容を基に、自らのリーダーシップ論を作成 (ディベート・グループディスカッションを活用する)
11	MYリーダーシップ論の作成	今まで学んで来た内容を基に、自らのリーダーシップ論を作成 (ディベート・グループディスカッションを活用する)
12	MYリーダーシップ論の作成	今まで学んで来た内容を基に、自らのリーダーシップ論を作成 (配布資料・PPTの作成)
13	MYリーダーシップ論の作成	今まで学んで来た内容を基に、自らのリーダーシップ論を作成 (配布資料・PPTの作成)
14	MYリーダーシップ論の作成	自ら作成したリーダーシップ論を教員見学(可能であれば)元でプレゼンテーション
15	総合授業	後期の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルプランナー検定 I		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルプランナー検定 I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	3	45
使用教材	The Business of American Weddings The Business of Japanese Weddings ABC 協会認定ブライダルプランナー検定 2 級過去問題集		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	欧米のウェディングと日本のウェディングの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米のウェディングと日本のウェディングにおいて、しきたりや慣習・知識等を理解する ・ブライダルプランナー検定 2 級を取得する 				
評価基準	検定結果：60% 小テスト：30% 授業態度：10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者 				
関連資格	ブライダルプランナー検定 2 級				
関連科目	ブライダルプランナー検定 II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	長谷 和代	実務経験	○		
実務内容	ウェディング会場勤務 10 年、結婚相談所経営 10 年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	American Weddings 第 1 章 アメリカンウェディングとは	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカンウェディング全体を理解する ・第 1 章の過去問を解く
2	American Weddings 第 2 章 アメリカンウェディング ～準備編 1～	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルショー・ブライダルパーティ・婚約ギフト・ペーパーアイテム・フォト・ビデオ・服装について理解する ・第 2 章の過去問題を解く

3	American Weddings 第3章 アメリカンウェディング ～準備編2～ American Weddings 第4章 アメリカンウェディング ～本番1～①～	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのギフトや演出・挙式、レセプション会場等について理解する ・リハーサルウェディングや伝統的な言い伝えを理解する ・各宗派の挙式をそれぞれしっかりと理解する ・第3章の過去問題を解く
4	American Weddings 第4章 アメリカンウェディング ～本番1～②～	<ul style="list-style-type: none"> ・リハーサルウェディングや伝統的な言い伝えを理解する ・各宗派の挙式をそれぞれしっかりと理解する ・第4章の過去問題を解く
5	American Weddings 第5章 アメリカンウェディング ～本番2～	<ul style="list-style-type: none"> ・レセプションについて学ぶ ・アメリカンウェディングの総まとめ ・第5章の過去問題を解く
6	Japanese Weddings 第1章 第2章2-12まで 日本のブライダル市場	<ul style="list-style-type: none"> ・特に1990年代の動向について知る ・第1章の過去問題を解く
7	Japanese Weddings 第2章 ウェディングの決定	<ul style="list-style-type: none"> ・結納・結婚式について知る ・第2章の過去問題を解く
8	Japanese Weddings 第3章 婚礼施設の主業務	<ul style="list-style-type: none"> ・第3章の過去問題を解く
9	Japanese Weddings 第4～5章 関連商品・サービス 衣装・主要各業務	<ul style="list-style-type: none"> ・第4章、第5章の過去問題を解く
10	オリエンテーション American Weddings 第6章 アメリカンウェディングとは	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカンウェディング全体を理解する ・第6章の過去問題を解く
11	検定対策（総まとめ）①	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
12	検定対策（総まとめ）②	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
13	検定問題解答・解説	<ul style="list-style-type: none"> ・検定試験の解答を行い、自己採点を行う
14	American Weddings 第7章 宗教ウェディング	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教ウェディングの基礎知識とプロテスタントの挙式、カトリック・ユダヤ教の挙式 非宗教挙式について学ぶ ・第7章の過去問題を解く
15	総合学習	<ul style="list-style-type: none"> ・総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サービス実践B		
必修選択	選択	(学則表記)	サービス実践B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル		出版社	日本ホテル・レストランサービス技能協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	<p>婚礼やレストランにおけるサービスの知識と技術を学び、お客様に合わせたサービスができるようになる。</p> <p>また、テーブルマナーや飲食に関する知識を学び知見を広げる。</p>				
到達目標	<p>基礎的な料飲サービスができるようになる。</p> <p>正しい接客用語やテーブルマナーを理解し実践できるようになる。</p>				
評価基準	テスト(実技・筆記):50% ロール・プレイング、シミュレーション:30% 授業態度:20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	<p>ブライダルプロジェクトⅠ(模擬披露宴)</p> <p>ブライダルプロジェクトⅡ(ウェディングプロデュース)</p>				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大川 綺萌	実務経験	○		
実務内容	<p>結婚式場でのサービススタッフ8年</p> <p>(レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント)</p>				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	飲料サービス①	水、コーヒー、紅茶のサービスを学ぶ
2	飲料サービス②	同上
3	ワイン・シャンパン・食前酒	<p>抜栓方法や提供方法、食前酒について</p> <p>ワインリストの読み方、ワインの種類や特徴(産地・製造方法)を知る</p>
4	ワイン・シャンパン・食前酒	同上
5	知識を広げよう①	食品の知識を学ぶ

6	知識を広げよう②	同上
7	デザート・フルーツ・チーズ サイドサラダのサービス	フルーツカットについて動画を見て学ぶ チーズの知識、製造方法を理解し、種類について理解する
8	カクテル①（考案）	グループでカクテルを考案する テーマを決定しプレゼンを実施
9	カクテル②（試作・プレゼン）	グループで試作をし、プレゼンテーションを行う
10	Data[2-10-1]	Data[2-10-2]
11	Data[2-11-1]	Data[2-11-2]
12	半期のまとめ	半期のまとめを行う
13	サービス実践①	各結婚式場のサービスの違いを知る
14	サービス実践②	サービスの実践 ウェディングプロデュースに向けたサービス実践
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ホテル概論 I		
必修選択	選択	(学則表記)	ホテル概論 I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	基礎から学ぶ ホテルの概論		出版社	ウィネット	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ホテル業に対する正しい知識を持つことを目的とし、組織や業務の特徴とは何かなどといった基本知識の理解を深め、ホテル産業やホテルという業種に対する深い知識を学びます。				
到達目標	ホテルの特徴や、ホテルウェディングの強みを自信をもって語れること。				
評価基準	課題提出 60% テスト 40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	ホテル概論 II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原田 征和	実務経験	○		
実務内容	結婚情報誌ゼクシィの広告営業3年6か月、JR タワーホテル日航札幌のマーケティング部を9年、JR タワーホテル日航札幌の営業を2年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介、授業の目的・ルール 第1章 「ホテル」とは何か 第9章 ホテルスタッフに求められる能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介、この授業の目的、ルール ・ホテルの魅力を語れるようになる ・ホテルに就職したいと思える ・ホテルスタッフに求められる能力を理解する
2	第2章 ホテルの分類 第3章 ホテルの発達の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの種類と特徴を知る ・世界のホテルの歴史 ・日本のホテルの歴史
3	第2章 ホテルの分類 第3章 ホテルの発達の歴史	同上
4	第4章 ホテル産業の特徴 第5章 ホテル内での様々な職種	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの組織・職種/他の授業とのつながりを知る。 ・プランナーはどこに属して、他部門との関連性を知る。

5	第4章 ホテル産業の特徴 第5章 ホテル内での様々な職種	同上
6	ホテル調査	例：シティホテル・リゾートホテル・外資系ホテル・アーバンリゾートホテル・ビジネスホテルなど いくつかのグループに分かれて調べ、身近にどんなホテルがあるのか発表
7	宴会部門について① 宴会予約の仕事や基礎知識	宴会予約（ブライダルアドバイザー）、宴会サービス、クローク、ブライダルアドバイザー
8	宴会部門について② 一般宴会	一般宴会について学ぶ 仕事内容や一般宴会の利用内容など
9	宴会部門について③ 基礎知識	テーブルプランについて学び、実際に会場のレイアウト表を作成してみる
10	婚礼サービスと弔事の知識	六輝、数字の吉凶、長寿のお祝い、法要について学ぶ
11	料飲部門について① レストラン	ホテル内の料飲施設の種類 フランス料理、中国料理、日本料理など
12	料飲部門について② 朝食	ホテル内の料飲施設の種類 ホテルの朝食について学ぶ
13	料飲部門について③ ビバレッジ・レセプションサービス	ビバレッジについての知識を学ぶ レセプションサービスの仕事内容を把握し、接客マナーについて学ぶ
14	半期のまとめ	半期のまとめを行う
15	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	レストランサービス検定対策 I		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス検定対策 I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	西洋料理料飲接客サービス技法 レストランサービス技能検定 学科試験合格をめざして		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	国家検定試験受験に向けて、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な知識を習得する				
到達目標	国家検定 レストランサービス技能士 3級 学科試験合格				
評価基準	授業態度 20% 各章のまとめ 20% × 4回				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士 3級				
関連科目	レストランサービス検定対策 II レストランサービス演習 I・II A・II B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大川 綺萌	実務経験	○		
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8年 (レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 食材・飲料等の基礎知識 1	授業の流れ、到達目標について 食品の分類別特徴、食品の管理、西洋料理に使用される主な食材について
2	食材・飲料等の基礎知識 2	西洋料理に使用される主な食材について
3	食材・飲料等の基礎知識 3	一般的な西洋料理調理法等について
4	まとめ	演習問題を実施する
5	料飲概論	アルコール飲料について

6	食材・飲料等の基礎知識 4	ワインの知識、その他の飲料について
7	食材・飲料等の基礎知識 5	メニュー構成について
8	まとめ	演習問題を実施する
9	食材・飲料等の基礎知識 6	食器類について 料飲サービススタッフの役割と求められる資質について
10	宴会とレストランサービス 1	料理と飲み物のサービスについて
11	まとめ	演習問題を実施する
12	宴会とレストランサービス 2	レストランにおける接遇について
13	宴会とレストランサービス 3	ワゴンサービスについて
14	宴会とレストランサービス 4	一般的な救護方法ならびに食事のサービスマナーについて
15	総まとめ	総まとめの演習問題を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	レストランサービス演習 I		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス演習 I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダード マニュアル		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	国家検定実技試験受検に向けて、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な動作を習得する				
到達目標	国家検定レストランサービス技能士 3 級 実技試験合格を目標として、ホテルサービスの基本知識と技術をもった人材になる				
評価基準	実技テスト 60%・評価シート 20% 授業態度 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の 3分の2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者 				
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士 3 級				
関連科目	レストランサービス検定対策 1・II / レストランサービス演習 II A・II B サービス実践 A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高力 健太郎	実務経験	○		
実務内容	ホテルのレストランサービス 16 年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本動作	授業の流れ 到達目標について 立ち居振る舞いの実践をする
2	接客用語 サービストレイの扱い 1	接客用語について トレイの扱いを復習及び実践する
3	サーバー・ドリンクサービス・ プレートサービス	サーバー・ドリンクサービス・プレートサービス 復習及び実践する
4	形式に合わせたセッティング①	朝食・昼食・夕食全てのセッティング及び、接客言葉を修得する

5	形式に合わせたセッティング②	同上
6	検定実技シミュレーション 朝食 ①	朝食サービスを行う
7	検定実技シミュレーション 朝食 ②	朝食サービスを行う
8	検定実技シミュレーション 朝食 ③	朝食サービスを行う
9	検定実技シミュレーション 昼食 ①	昼食サービスを行う
10	検定実技シミュレーション 昼食 ②	昼食サービスを行う
11	検定実技シミュレーション 昼食 ③	昼食サービスを行う
12	実技のまとめ①	実技のまとめを行う
13	実技のまとめ②	実技のまとめを行う
14	検定実技シミュレーション 夕食	夕食サービスを行う
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①				
授業形態	演習	科目名	撮影基礎演習	
必修選択	選択	(学則表記)	撮影基礎演習	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1 30
使用教材	JWSA WEDDING PHOTO	出版社	一般社団法人 日本ウェディングスタイリスト 協会	
科目の基礎情報②				
授業のねらい	ウェディングフォト（婚礼写真）の知識、撮影基礎技術を学び、ウェディングフォトの提案および撮影テクニックを身につける。			
到達目標	ウェディングフォトの商品説明ができる。 ウェディングフォト商品別に手順を理解した上で、手配業務ができる。 スマートフォンを使用した撮影、編集ができる。 一眼レフカメラ又はミラーレスカメラを使用し、ウェディングフォトのロケーション撮影ができる。			
評価基準	試験：80% 課題提出：20%			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者			
関連資格	JWSA 認定ウェディングフォトスタイリスト検定			
関連科目				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。			
担当教員	横田 久美子	実務経験	○	
実務内容	ブライダルフォトグラファー ブライダルフォトスタジオ店長			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 通過儀礼における写真	授業の流れ、到達目標、ウェディングフォト（婚礼写真）について（DVD） 日本の通過儀礼における写真撮影について
2	ウェディングフォトの接客 ウェディングフォトの業務	ウェディングフォト業務の接客について ウェディングフォトの業務の流れと必要なスキルについて
3	カメラの基礎知識 スマートフォン撮影①	写真を撮るための基礎用語と知識について スマートフォンのカメラ機能を理解し、撮影実践
4	スマートフォン撮影② SNS とは	スマートフォンのカメラ機能を使用して、課題撮影およびアプリを使用した編集を実践 ソーシャルネットワークサービスの効果と注意点について

5	ウェディングフォトの種類と知識 ① ウェディングフォトの種類と知識 ②	「集合写真」「記念写真」「スナップ写真」の利点、手順、費用について 「前撮り」「ロケーションフォト」「エンゲージメントフォト」「フォトウェディング」の利点、手順、費用について
6	スタジオ写真① スタジオ写真②	スタジオ写真の技術について（フォトスタジオ見学含む） 「親族写真の並べ方」「新婦和装の振付け」について
7	スナップ写真① スナップ写真②	挙式の式次第と撮影ポイントについて スナップ写真の撮影シーンについて
8	スナップ写真撮影実践① スナップ写真撮影実践②	人前式の挙式を設定し、撮影準備をする 人前式のスナップ写真撮影を実践する 「フォトコンテスト」に向けた撮影の実践
9	ロケーションフォト① ロケーションフォト②	ロケーションフォトの手順、撮影シーンについて 「海外フォトウェディング」「ロケーションフォトの撮影テクニック」について
10	ロケーション撮影実践① ロケーション撮影実践②	テーマを設定し、モデル、ロケーションの検討、撮影準備をする ロケーション撮影を実践する
11	プレゼンテーション ウェディングフォトの編集	撮影したロケーションフォトのプレゼンテーション ウェディングフォトの編集、加工テクニックについて
12	ウェディングフォトの製本 ウェディングフォト撮影実践①	ウェディングフォトの製本方法、手配業務について フォトスタジオなど実際の現場見学を通して、撮影実践に向けた準備や企画を想像する
13	ウェディングフォト撮影実践② ウェディングフォト撮影実践③	ウェディングフォト「ロケーション撮影」「会場撮影」を企画する ロケーション撮影及び会場撮影の準備・実践をする
14	ウェディングフォト撮影実践④ プレゼンテーション	ロケーション撮影及び会場撮影の実践・編集・プレゼン準備をする 撮影したウェディングフォトのプレゼンテーションの実践
15	試験 総合授業	検定試験の実施（科目試験含む） 総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップ I		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップ I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	プライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価 75 点 (評価表にて採点)、学校評価 25 点 (レポート)				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松本 桂	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります